

第11回地球温暖化に関する中部カンファレンス ～ビジネスの自発的な行動と支える社会を考える～

日 時：平成30年2月16日（金）

13:30～17:00

会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋
新幹線口 7階 バンケットホール 7B

－ プログラム －

MC：磯谷 祐介

13:30 【開会挨拶及びオリエンテーション】

環境省中部地方環境事務所 環境対策課長 永井 均

13:40 【講演】 ESGと企業評価 –投資家の視点から–

株式会社りそな銀行 アセットマネジメント部
責任投資グループリーダー 松原 稔 様

14:20 【講演】 環境にやさしいお買い物は地球を救う

…ユニーが取り組む SDGs 12 持続可能な消費
ユニー株式会社 環境社会貢献部長 百瀬 則子 様

15:00 【休憩】

15:15 【情報提供】 経済のグリーン化に向けて

環境省大臣官房環境経済課課長補佐 清水 延彦

15:55 【ディスカッション】

モデレーター 環境省中部地方環境事務所長 三村 起一

17:00 【閉会挨拶】

環境省中部地方環境事務所 環境対策課長 永井 均

※本日は、公共交通機関でのご来場ありがとうございます。

※本日の中部カンファレンスの開催により、TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口バンケットホール
7B の電気使用量等から排出される CO₂は中部管内で創出された J-VER で、できる限りオフセットします。

J-VER 名：長野県根羽村森林組合による間伐事業を用いた温室効果ガス吸収プロジェクト
～健全な森林づくりによる地球温暖化防止と持続可能な山村社会を目指して～

※ペーパーレス化の取組の推進については、今後ともご理解ご協力をお願いします。

講演者の略歴

松原 稔

株式会社りそな銀行 アセットマネジメント部 責任投資グループリーダー

1991年4月 りそな銀行入行、年金信託運用部配属。以降、投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部で運用管理、企画を担当

2009年4月 信託財産運用部企画・モニタリンググループグループリーダー

2017年4月 現職

2000年 年金資金運用研究センター客員研究員

2005年 年金総合研究センター客員研究員、日本証券アナリスト協会セミナー企画委員会委員、投資パフォーマンス基準委員会委員、企業価値分析におけるESG要因研究会委員（-2015.6）、JSIF（日本サステナブル投資フォーラム）運営委員、MPTフォーラム幹事、PRI（国連責任投資原則）日本ネットワークコーポレートワーキンググループ議長、環境省「持続可能性を巡る課題を考慮した投資に関する検討会」委員、投資家フォーラム運営委員（-2016.7）、持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長、日本証券アナリスト協会検定会員、日本ファイナンス学会会員

百瀬 則子

ユニー株式会社 上席執行役員 CSR部 部長

消費生活アドバイザー・環境カウンセラー（環境省）地球温暖化防止コミュニケーター

1980年4月 ユニー株式会社入社

1996年5月 中京本部東浦店副店長

2003年2月 環境部長

2006年 環境社会貢献部部長

2007年 環境省・農水省 合同委員会委員（食品リサイクル法）

2009年 日本ショッピングセンター協会環境対策委員

環境省・経済産業省 合同委員会委員（容器包装リサイクル法）

2013年 環境省 政策評価委員

2014年 ユニーグループ・ホールディングス株式会社 執行役員

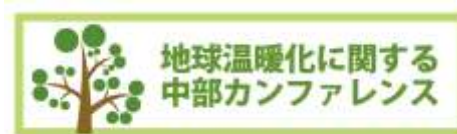
2016年 環境省 COOL CHOICE 推進チームメンバー

2017年 ユニー・ファミリーマートHD株式会社 執行役員 CSR・コンプライアンス部長

～ お願い ～

「中部カンファレンス」をもっとご利用ください

「地球温暖化に関する中部カンファレンス」の総合案内ページを開設しております。



URL : http://chubu.env.go.jp/earth/post_20.html

また、専用バナーを中部地方環境事務所のHPトップに掲載しています。専用ページでは、

(ア) 今までご登壇していただきました講師の方々の説明資料等を見ることができます。

(イ) 「開催案内」や今後の予定をいち早く知ることができます。

※中部カンファレンスでは、地球温暖化対策関係の「話の出所」である方々に講師をお願いしています。

会場で聴講されたことや、専用ページに格納してあります資料については、どんどん広げてください。

カーボン・オフセットに参加ください

「中部カンファレンス」の開催に伴い、会場で使用する電気等より排出されたCO₂については、中部管内の7県で創出されましたJ-VER及びJ-クレジットにより可能な限りカーボン・オフセットします。皆様もできる部分からオフセットにご協力ください。